

経営理念

堅実で健全な経営

当行は堅実で健全な経営のもと、地域金融機関としての企業価値を高め、お客様のニーズに合った商品やサービスを提供し、地域社会の発展に貢献することにより、お客様、株主の皆さまの信頼を得る。



中期経営計画

静岡中央銀行は、**お客様中心主義 (CC)** の実践により、
“お客様・地域社会の発展に貢献し信頼される銀行” を目指します。

第9次中期経営計画「TRY II」では、全役職員が一丸となり、行動指針「**更なる改革と前進**」のもと、お客様中心主義の実践に取り組み、一人でも多くのロイヤルティの高いお客様を増やし、お客様・地域社会の発展に貢献し信頼される銀行を目指しております。

目標とする経営指標

収益性・効率性指標

- ・ コア業務粗利益 100億円
- ・ 基礎的利益 88億円
- ・ コア業務純益 31億円
- ・ コアOHR 60%台

健全性指標

- ・ 自己資本比率 11%台
- ・ 不良債権比率 2%台前半

経営理念
堅実で健全な経営

● 当行は堅実で健全な経営のもと、地域金融機関としての企業価値を高め、お客様のニーズに合った商品やサービスを提供し、地域社会の発展に貢献することにより、お客様、株主の皆さまの信頼を得る。

第9次中期経営計画
TRY II ~ 更なる改革と前進 ~
 期間 / 平成24年4月～平成26年3月(2年間)

目指す銀行像
 お客様・地域社会の発展に貢献し信頼される銀行

基本方針
 お客様中心主義の実践

基本戦略

① お客様目標での行動改革の実践	⑤ 経営の効率化
② 組織力の向上と人材育成体制の構築	⑥ 基本ルール遵守・コンプライアンス態勢の強化
③ 活力ある営業体制の構築	⑦ 各種リスク管理態勢の強化
④ 安定的な収益基盤の構築	⑧ 金融円滑化対応・コンサルティング機能の発揮

2年後の目指す指標

収益性・効率性指標 ● コア業務粗利益……100億円 ● 基礎的利益……88億円 ● コア業務純益……31億円 ● コアOHR……60%台	健全性指標 ● 自己資本比率……11%台 ● 不良債権比率……2%台前半
------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------

メルクマール
 預貸1兆円に向かって組織力アップ ～ロイヤルティの高いお客様の増加～

行動指針 ~ 更なる改革と前進 ~

- 従来の延長線上での発想や仕事のやり方を改め前進する。
- お客様の真のニーズを把握し、そのニーズに迅速に対応する。

静岡中央銀行

「CC」

Customer Centric (カスタマーセントリック) の略語で、「お客様中心主義」という意味です。
 つまり「お客様 (カスタマー) を中心 (セントリック) に」物事を考え、判断し、行動することを指します。

「ロイヤルティの高いお客様」

将来にわたって当行に利益をもたらす行動意図があるお客様のことです。
 ①他に選択肢があるにもかかわらず当行を選んでいただけるお客様
 ②当行との取引を永く続けていただけるお客様
 ③友人・知人・親戚に当行を紹介したり取引を奨めていただけるお客様
 ④不平・不満があったら正しく伝えてくださるお客様